


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	しょうじ まさひこ	
氏名	庄司 昌彦	
所属・役職	デジタル庁 オープンデータ伝道師 武蔵大学社会学部メディア社会学科 教授	
活動拠点	主に東京	
略歴	<p>2002年 中央大学大学院総合政策研究科博士前期課程修了 修士（総合政策）</p> <p>2002年 国際大学 GLOCOM 研究員</p> <p>2018年 国際大学 GLOCOM 主幹研究員・准教授</p> <p>2019年 武蔵大学 社会学部 教授</p> <p>2009年より一般社団法人インターネットユーザー協会（MIAU）理事、2012年より一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン（OKJP）代表理事なども務めている。『行政&情報システム』誌で「行政情報化新時代」を連載（2011-）。</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<ul style="list-style-type: none"> ・総務省「自治体システム等標準化検討会」座長、総務省「地方自治体のデジタルトランスフォーメーション推進に係る検討会」座長など、総務省やデジタル庁における行政デジタル化に関する議論に参加して得られた知見等に基づく解説。 ・自治体DX、スマートシティ等に関する総合的な地域情報化ビジョン、戦略、計画の策定支援 ・オープンデータ・ビッグデータ・パーソナルデータ等の活用に向けた国内外事例分析と紹介、官民協働の場作りとその運営、自治体内の機運醸成や体制構築 ・その他、情報社会における地域経済・社会運営のあり方についての考察や問題提起など 	
専門分野	<p>オープンデータEBPM（エビデンスに基づく政策立案）AI活用 生成AI活用 シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体セキュリティ デジタルデバйд対策 5G マイナンバー マイキープラットフォーム 防災 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 働き方子育て テレワーク 医療・介護・健康 地域ビジネス 観光 個人情報保護 スマートシティ ICT活用広報 その他</p>	
自治体向けメッセージ	<p>研究者としては、「情報社会」の潮流や特徴を分析する情報社会学を専門としており、企業や政府・自治体との共同研究を多数行っています。利活用面や運</p>	

	<p>営面に重点を置き、国内外の多種多様な事例を分析し、特徴を把握し、それらを踏まえて今後のビジョンやあり方を提言するようなアプローチを得意としています。</p>
関連サイト	<p>詳細プロフィール・業績 https://researchmap.jp/mshouji/</p>
地域情報化に関する実績	<p>情報社会学の観点から、電子行政・オープンガバナンス、地域情報化、社会イノベーション、高齢社会などについて調査研究を行っています。2006年から地域におけるソーシャルメディアの活用や関連するヒト・モノ・カネなどの動きを研究する「地域 SNS 研究会」を主宰。また、2009年からはオープンデータ活用について政策研究を進めると同時に多数のアイデアソン・ハッカソンの企画運営、ファシリテーションなどに従事。近年は自治体システム標準化共通化や自治体 DX について、政府や自治体の議論に参画しています。</p> <p>※主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル庁 マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤抜本改善 WG 構成員 ・デジタル庁 データ戦略推進 WG 構成員 ・デジタル庁 オープンデータ伝道師 ・総務省 自治体システム等標準化検討会（住民記録・地方税・選挙人名簿）座長 ・消費者庁 消費生活相談デジタル化アドバイザリーボード 座長 ・千葉県 ICT アドバイザリー会議 座長 ・東京都 東京データプラットフォーム協議会 推進会議 委員 ・三重県 デジタル推進フェロー ・宮城県仙台市 情報アドバイザー ・静岡県三島市 情報戦略アドバイザー ・東京都江戸川区 DX 推進アドバイザー <p>『行政&情報システム』誌で「行政情報化新時代」を2011年から連載中。著書（共著）に『地域 SNS 最前線 Web2.0 時代のまちおこし実践ガイド』（アスキー）などがあります。</p>
	<p>これまでの経験業務・研究活動</p>

・地域 SNS 全国フォーラム (2007~14 年)

<http://forum.local-socio.net/>